

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

次号195号
平成31年5月15日発行

3月19日
メ切

かすかの
写真募集
します

平成30年

12月定例会



Contents

「第17回なんちゅうカレッジ祭」

撮影 荒木 貢さん (白水池)

撮影者の紹介はP16へ

- 2 12月定例会での議案審議
- 4 10月臨時会での議案審議
- 5 全ての議案の議決結果
- 6 15人の議員が一般質問
- 10 定例会の視点・論点
- 12 議会閉会中の活動(委員会行政視察)
- 14 議会報告会を開催しました

No.

194

問

総務省の通達では返礼品は地場産品でなければならないとされているが、今後の対応は。

答

返礼品は市内事業者が提供しており、県を通じて総務省に報告をしたが、本市に指摘は無かった。返礼品の問題は引き続き国の動向を注視しつつ、市内事業者と情報共有しながら対応していきたい。

問

ふるさと納税の偽サイトが確認されたと新聞に掲載されていたが、本市は該当するのか。

答

本市では確認されていない。県から県内12自治体に偽サイトがあると通知があった。複数のポータルサイトを持っている自治体にそのような傾向があると分析している。注意喚起に努めていきたい。



定例会での質疑のうち2～4ページで
主な議案についてご紹介します

インターネットで録画配信しています 春日市議会 検索

一般会計補正予算(第5号)

基金運用 収入の増

歳入

利子・配当金
742万9千円増

問

基金約100億円の運用は。

答

債券、譲渡性預金および定期預金を中心に運用している。平成30年度の運用収入見込みは、全ての基金で約1,600万円となり、そのうち債券分が約1,300万円である。

一般会計補正予算(第6号)

統一地方選挙 日程決まる

全員賛成
可決

歳入

県知事・県議会議員選挙委託金 608万2千円増

歳出

県知事・県議会議員選挙費 608万2千円増

問

期日前投票所の増設や投票所を市役所1階に設置の予定は。

答

選挙管理委員会での協議の結果、増設については、経費などの課題や市域も狭いこともあるため、従来通りとする。また、期日前投票の増加に対しては、前回同様会場は4階になるが、投票所を広くし、受付を1カ所増やし2カ所にすることを検討している。

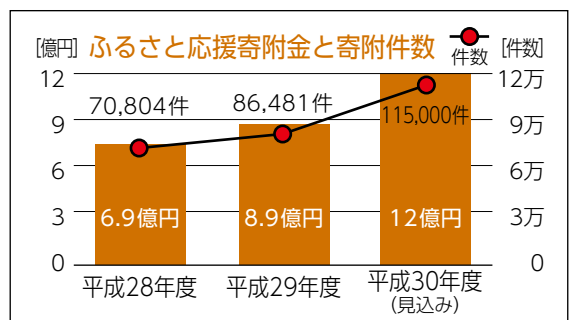
福岡県知事・県議選 平成31年4月 7日(日)
春日市長・市議選 平成31年4月21日(日)



総務文教
委員会一般会計補正予算(第5号)
かすがふるさと応援寄附金・同推進事業費

ふるさと納税11万件を超え7億円増へ

ふるさと応援寄附金の予想を上回る寄附件数、寄附金の増加に伴い、寄附者への返礼品の送付に係る業務委託料などを増額する。



(平成30年10月末現在)

歳入 かすがふるさと応援寄附金 7億円増

歳出 返礼品送付委託料など
4億2,471万7千円増

問 総務省の通達で返礼品の割合を寄附金の4割から3割に引き下げたが影響はなく、7億円増となった要因は何か。

答 社会全体にふるさと納税が浸透した。総務省がマスコミに対して発信する回数も非常に多く、国民に興味を持たせ潜在需要を喚起させ、本市だけでなく日本全体で伸びている。

12月
定例会

議 案 審 議

12月3日～12月18日(16日間)

委員会付託議案：総務文教7件、市民厚生7件、地域建設2件

総務文教
委員会

一般会計補正予算(第5号) 社会教育施設維持補修費

地区公民館を安全で良好な施設とするため
予防保全型管理の導入

歳出 社会教育施設維持補修費 400万円増

問 この時期の増額補正とは、通常よりも大きな工事や修繕箇所の増加によるものか。

答 地区公民館において、予防保全型の管理の導入による日常点検や定期点検に基づき、迅速に維持補修を行った。今後の対応に当たり事業費が不足することから増額補正する。



予防保全型管理

平成29年3月に策定した春日市公共施設等総合管理計画に基づき、不具合が生じる前に対策を行う維持管理。施設の長寿命化につながり、維持管理コストの軽減に寄与する。



計画全文はコチラ

市民厚生
委員会国民健康保険事業特別会計
補正予算(第2号)全員賛成
可決

高額療養費の増

一般被保険者の高額療養費の増額に伴い、同額を県から保険給付費等交付金として受け入れる。

歳入	保険給付費等交付金	2,630 万 7 千円増
歳出	一般被保険者高額療養費	2,630 万 7 千円増

問

高額療養費は今後も増加傾向か。

答

今回 1 件当たりの総医療費が約 600 万円の心臓手術が同じ月に 2 件重なったことによる。ただし、件数自体は若干だが前年度より減っており、今回のような急激な伸びはないと想定する。

市民厚生
委員会

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

地域密着型介護サービス給付費の減

平成 28 年度と比較し 8 地域密着型デイサービス事業所が廃止となった。閉鎖 4 事業所の利用者は移管調整を行い、デイサービス通所に支障はない。

歳出

地域密着型介護サービス給付費
8,229 万 7 千円減
介護予防ボランティアポイント制度
施設利用券負担金 97 万 4 千円減

問

介護予防ボランティアポイント制度の減額の要因は。

答

平成 29 年度開始の事業で、施設利用券は当初 2,500 冊分で予算措置したが、配付が 552 冊で確定したため差額を減額した。

介護予防ボランティアポイント制度

介護予防に関するボランティア活動を行った方にポイントを付与し、そのポイントに応じて総合スポーツセンター、いきいきルーム、ナギの木苑で利用できる施設利用券を交付する。

総務文教
委員会

新たに教育委員会委員を任命

教育委員会委員

うおや こ
魚屋 けい子氏(1 期目)

任期は平成 30 年 12 月 21 日から 4 年間

全員賛成
同意

教育委員会委員

当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者(満 25 歳以上の者)で、人格が高潔で教育や学術、文化に関して識見を有する方から、議会の同意を経て市長が任命。本市の教育委員会委員は 4 名。

10 月
臨時会

7 月発生 of 豪雨災害復旧に係る予算を審議

会 期 10 月 10 日 (1 日間)

全員賛成
可決総務文教
委員会

一般会計補正予算(第 4 号)

平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨で損壊した特別史跡水城跡の天神山小水城の災害復旧工事に係る予算を審議した。

問

今回の補強土壁工法は他の工事でも採用されているのか。

答

寺田池、高速道路や災害復旧の現場で採用されている。

財政調整基金

予期しない収入の減少や災害などによる突発的な支出に備えるためのもの

歳入	財政調整基金繰入金	6,643 万 9 千円増
歳出	社会教育施設災害復旧費	6,643 万 9 千円増

12月定例会 議案の議決結果

■ 全員賛成で議決した議案

人事案件 [同意]

- 教育委員会委員の任命 ⇒P4参照

条例の改正 [原案可決]

- 市職員の給与に関する条例
- 特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例
- 市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例

平成30年度 補正予算 [原案可決]

- 一般会計(第5号) ⇒P2～3参照
- 国民健康保険事業特別会計(第2号) ⇒P4参照
- 後期高齢者医療事業特別会計(第2号)
- 介護保険事業特別会計(第2号) ⇒P4参照
- 下水道事業会計(第2号)
- 一般会計(第6号) ⇒P2参照
- 国民健康保険事業特別会計(第3号)
- 後期高齢者医療事業特別会計(第3号)
- 介護保険事業特別会計(第3号)
- 下水道事業会計(第3号)

その他の案件 [原案可決]

- 訴えの提起

報告案件(専決処分) [承認]

- 倒木による自動車損傷事故に伴う損害賠償額の決定

報告事項 [受理]

- 土地開発公社の事業計画の変更
- 平成29年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価

陳情 [市民厚生委員会に送付、意見書送付は見送り]

- 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情書

要望 [地域建設委員会に送付、意見書送付は見送り]

- 「主要農作物種子法」廃止に関わる市町村議会での意見書採択のお願い

■ 賛否が分かれた議案

平成30年第4回（12月）定例会 件 名		議決 結果	賛 成	反 対	公明党				みらい 春日	創政会			春風会	翔 雲	会派大樹	春陽会	会派に所属 しない議員						
					野 口 明 美	前 田 俊 雄	岩 切 幹 嘉	高 橋 裕 子	西 川 文 代	武 末 哲 治	與 國 洋	竹 下 尚 志	米 丸 貴 浩	川 崎 英 彦	白 水 勝 己	松 尾 徳 晴	中 原 智 昭	北 田 幸 恵	近 藤 幸 恵	白 水 和 博	岩 淵 穰	吉 居 恭 子	内 野 明 浩
P5 参照	日米地位協定のあるべき姿への見直しを 求める意見書	原案可決	12	4	○	○	○	○	○	欠	●	●	●	●	欠	○	○	○	○	○	退	○	○

※金堂清之議員(翔春会)は議長職のため、表決権はありません。 ※◎は会派代表者 ※退は退席者 (○賛成 ●反対)
※賛成・反対討論を行った議員は網掛け■しています。 ※欠は欠席者

第5号意見書案

日米地位協定のあるべき姿への見直しを求める意見書

賛成多数
可決

【要旨】日米地位協定は、日米の安全保障体制やわが国の社会環境が大きく変化しているにもかかわらず、1960年の締結以来一度も改正されていない。これまで運用改善や環境補足協定の締結などはあるが、米軍基地から派生する事件、事故などから国民の生命・財産と人権を守るためにはまだ不十分と言わざるを得ない。

採決にあたっての討論

反対

川崎 英彦 議員
日米地位協定の改正を望むのであれば、刑事手続における法のみならず、憲法改正をセットに議論しなければならない。意見書案は、基本的かつ重要な立場を明記しておらず、制度上の問題点の指摘や具体的な提言もない。

賛成

野口 明美 議員
全国知事会は、米軍基地は防衛に関する事項であることは十分認識しつつ、住民生活に直結する重要な問題であるため提言している。公明党も、これまで日米地位協定の改定や沖縄の負担軽減など政府に改善を求めてきた。

12月定例会 一般質問

15人の議員が市政に対する質問を行いました

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。市政全般について市長の見解を求め、市政に対する提言を行います。

いつでもどこでも

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。



	質問項目	議員名	掲載ページ		質問項目	議員名	掲載ページ
安心な健康福祉	ワクチン接種に対する施策	松尾 徳晴 議員		市民生活	自治会が保有する蛍光灯	近藤 幸恵 議員	7
	切れ目のない子育て支援の拡充	高橋 裕子 議員			自治会活動の拠点である地区公民館などの施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザインなどの推進	竹下 尚志 議員	9
	子育て支援	野口 明美 議員	8		運行システム大幅見直し後のコミュニティバス事業の今後	米丸 貴浩 議員	6
	受動喫煙防止の取り組み	川崎 英彦 議員	8		自転車の安全利用の環境整備	前田 俊雄 議員	7
	学童保育の充実	吉居 恭子 議員	9		防災・減災・安全対策	高橋 裕子 議員	7
活力あふれる教育・文化・スポーツ	学校給食の今後の運営方法	中原 智昭 議員	6	快速な都市整備	水の安定供給	吉居 恭子 議員	
	総合スポーツセンターのネーミングライツ	松尾 徳晴 議員	7		市の見える化	近藤 幸恵 議員	
	コミュニティ・スクールの発展	白水 和博 議員	8		SNSを使った情報発信の現状と展望	川崎 英彦 議員	
	道徳教育充実のための姿勢	白水 和博 議員			本庁舎大会議棟1階テナント空きスペース活用	川崎 英彦 議員	
	学校教育	野口 明美 議員			プロモーション事業の取り組み	岩切 幹嘉 議員	9
	中学校給食	川崎 英彦 議員			地方創生の進捗状況	西川 文代 議員	9
	不登校への対応	與國 洋 議員	8		会計年度任用職員制度の導入に向けた取り組み	内野 明浩 議員	10

※会議録(冊子)およびパソコンでの閲覧は市民図書館でもできます。※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

市域を超えたコミュニティバスの 広域運行



よねまる たかひろ

米丸 貴浩 議員



問

福岡県は市域を越えたコミュニティバスの運行など効果的な施策を推進している。広域運行は利便性や収益性の観点から大変重要な位置付けと考えるが、また駅などを拠点としたバス運行への見解は。

答

関係する他市のバス導入目的などが違うため課題はあるが、バス事業を推進する上で検討すべき施策と認識している。また駅などに新たな拠点を設けるのも一つの方策であると思われるが、現行方式が市民に定着しており将来的な課題と考える。



コミュニティバス

春日市学校給食の今後の 運営方法は



なかはら ともあき

中原 智昭 議員



問

小学校の給食室は平成3年～4年に増築改修を行ってから25年～26年が経過し、児童の食の安全面からみても、今後の方針について給食センター方式も含め検討すべきでは。

答

今後の方針については、給食センター方式についても検討したが、用地取得や建設予算などの問題により断念し、現在の自校方式での運営を継続するとの判断を行った。平成31年度予定の大規模改修に合わせた天神山小学校から、順次、他の小学校の改修を進めていく。



自転車関連事故から 市民を守りたい



まえ だ とし お
前田 俊雄 議員



問

自転車の安全利用の環境整備に関連しての一般質問は、平成16年12月以来、今回で9回目となる。繰り返し訴えるのは、市民の安全を守りたいためである。重ねて、国が示す、自転車ネットワーク計画事業を強く求めたい。

答

他の街路事業などにも多額の事業費が投入されており、これらの事業の一定のめどがつくまで時間がかかるが、自転車関連事故をなくすために、自転車ネットワーク計画事業を検討したい。



新たな財源確保のため 命名権導入を



まつ お とくはる
松尾 徳晴 議員



問

春日市は体育協会体制強化のため交付金増額、6人制女子バレーボールチーム福岡春日シーキャッツへの補助金などの歳出が必要になった。新たな財源を確保するため、総合スポーツセンターの命名権を募集してはどうか。

答

県内では福岡ヤフオクドームなどは命名権を販売し運営経費など財源の一部としている。本市のスポーツセンターは興行による使用はなく市民のスポーツの場としての使用が主であることから命名権の導入は難しいと考える。



公民館7館の蛍光灯のLED化の 改修計画は



こんどう さち え
近藤 幸恵 議員



問

国から2010年(平成22年)に「エネルギー基本計画」が通達され、2030年までに水銀を含む照明をLED照明に改修するように示された。公民館の大規模改修時にLED化されなかった5館および新築された塚原台、大土居公民館のLED化改修計画が必要と考える。

答

国の計画では既存照明の更新時などに行うことと定められているため計画はない。大規模改修工事の時期を基本とし、社会情勢の動向も注視し、慎重に判断していく。



小中学校体育館にエアコン 設置の考えは



たかはし ゆう こ
高橋 裕子 議員



問

小中学校の普通教室のエアコン設置は今年度完了したが、災害時の避難所にもなる体育館にエアコン設置をすべきと考えるがどうか。また、乳児用液体ミルクを災害時のための市の備蓄品として確保すべきと考えるがどうか。

答

小中学校体育館に空調設備の整備予定はない。避難所の熱中症対策は必要と考え有効な方法を検討する。液体ミルクは製造・販売などの状況を確認し、市民への周知や備蓄に対する有効性や課題などについて研究に努める。



乳児用液体ミルク

コミュニティ・スクールの 発展について



しろうず かずひろ

白水 和博 議員



問

地域コーディネーターの存在はコミュニティ・スクールの発展に大変重要な役割を果たしている。市内18小中学校への全校配置に向けた方針は。

答

全校に配置することが、本市のコミュニティ・スクールの持続的・安定的な充実、発展につながると考えている。人選を含め、学校支援の観点から、学校の意向把握などを行い、効果的な配置について十分に検討していく。



網膜芽細胞腫の早期発見、 治療の取り組みを



のぐち あけみ

野口 明美 議員



問

網膜芽細胞腫は網膜に発症する悪性腫瘍で乳幼児に多く、日本では年間80人程度発症する目のがんである。白色瞳孔を3歳児健康診査におけるアンケートに追加し、乳幼児の早い時期から網膜芽細胞腫の早期発見・早期治療につなげる取り組みの考えは。

答

網膜芽細胞腫も含め国からの通知や検診マニュアルなどを参考にし、小児科医師などと十分に協議しながら適切なアンケート項目の設定について、研究・検討に努めていきたい。



健康増進法改正に伴う 受動喫煙防止対策を



かわさき ひでひこ

川崎 英彦 議員



問

罰則付きの受動喫煙防止法が今年7月に改正された。その主旨は、第一に望まない受動喫煙が生じないように国・地方自治体が防止する措置に努めることにある。現在の公共施設などの喫煙スペースは改正された設置基準を満たしているか。

答

現在、管理している公共施設などの現状把握に努めている。今後、国の政令・省令に沿って望まない受動喫煙をなくすという健康増進法改正の趣旨を踏まえ適切な対策を施設管理者と協議を行っていく。



解消されない不登校 児童生徒への対応は



よ くに よう

與國 洋 議員



問

10年前も不登校の児童生徒は多く、その対応は喫緊の課題とされさまざまな対策が取られたが、減少することはなくむしろ増加している。この実態をどう捉え対応しているのか。また総合教育会議における総合的な検討が必要では。

答

重点課題と認識。学校復帰・進路保障などを目指し登校サポートプランの確実な実践と評価、小中学校の連携、カウンセラーと専門家を介した保護者との連携の充実を図る。また総合教育会議の議題として検討する。



教育支援センター

自治会活動拠点の公民館に エレベーター設置を



たけした しょうし
竹下 尚志 議員



問

公民館のエレベーター設置を7年前に質問。この間高齢者数などの状況も大きく変化しているため、再度質問。高齢者の生きがいづくりの場所として活用され、会場が2階にあるため階段を昇るのに大変苦労されている。大規模改修工事と一緒にエレベーター設置の計画をすれば経費の軽減、公民館の休館日の減少などになる。なぜ一緒に計画ができなかったのか。

答

優先順位を見極め事業を選択し、エレベーター設置計画も慎重に判断していく。



大野城市月の浦公民館
家庭用エレベーター
(3人定員)

本市のプロモーションの 考え方について問う



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問

本市のプロモーション事業の目指すべき目的はどこに置いているのか。またブランドイメージの言葉だけでは共有できるイメージが持ちにくいと思う。具体化しながら、全市民が参加できる取り組みをお願いしたい。

答

市民が主体の協働のまちづくりを推進することを目的に、ブランドイメージ「みんなで春をつくろう」を策定したところである。今後は市の魅力などの情報や理念を分かりやすく発信していく段階になると認識している。



学童保育の充実について



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問

市独自の質の高い学童保育を担う放課後児童支援員の人材確保のために、国の処遇改善等事業などを利用してはどうか。また、チャイルド第2クラブの建設計画はどうか。

答

指定管理者の事業の実施状況や収支・経営状況など確認しながら、実施計画や予算編成の場において検討する。チャイルド第2クラブは、新・放課後子ども総合プランの基本方針に基づき引き続き検討していく。



学童保育クラブ舎

春日原駅周辺整備事業の ソフト面の計画は



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問

本市の中心市街地として商店街の活性化も含め、にぎわい、憩い、触れ合いがあるなどソフト面の充実が、住み良さと魅力ある街づくりに必須だと考える。ソフト面の構想から実現に向けたスケジュールと計画をお尋ねする。

答

ソフト面については2022年度にハード面が完了する前後から西鉄春日原駅周辺まちづくり会議を活用し、街の活性化や、市民にとってゆとりある空間、にぎわいのある街づくりのため、重要施策の一つとして進めていく。



西鉄春日原駅西口



会期日程 平成31年3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
24	2/25	26	27	28	3/1	2
	本会議 (議案説明)		本会議 議会運営委 予算審査委	常任委員会 (補正予算採決)		
3	4	5	6	7	8	9
	予算審査委 議会運営委	本会議 予算審査委	予算審査委	常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	予算審査委		本会議 (一般質問)			
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会 (採決)	予算審査委 (採決)	議会運営委 常任委員会 議会報委	春分の日	本会議 (採決)	

※日程は都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

市議会の定例会や委員会では、市民の皆さんのこれからの生活に直接関わる大切な議案などについて議員が質疑を行い、慎重に審議、決定しています。

傍聴人数推移

平成30年	平成31年
3月 定例会	3月 定例会
51人 2人	32人 1人
6月 定例会	9月 定例会
32人 1人	32人 1人
12月 定例会	12月 定例会
26人 0人	26人 0人
上段:本会議	下段:委員会

会計年度任用職員制度の 取り組みについて



うちのあきひろ

内野 明浩 議員



問

再来年度からの実施となる会計年度任用職員の勤務労働条件は、条例などにより市が定めることになる。基本的な考え方として正規職員に準じた勤務労働条件の整備が必要と考える。新制度設計に向けての考えは。

答

新制度に関する情報収集、筑紫地区他団体との情報交換や職員団体との協議を重ね、新制度移行に向けての準備を進める。平成31年9月議会に新制度に係る条例案を上程する予定。



市庁舎

定例会の視点・論点

議会運営委員会が12月定例会での議論になった内容をお知らせします。

1 一般質問について

15名の議員から24項目の多岐にわたり、市政運営に係る質問や提言が他自治体の施策やデータと比較しながら説得力ある議論、市民目線での議論が展開された。

質問は子育て支援、いじめ問題や不登校対策などの教育問題、自転車の安全利用の環境整備、春日市地方創生の進捗状況、地域活動の拠点である地区公民館のエレベーター設置など充実した内容であった。また傍聴者アンケートからは議会、議員活動への期待が感じられた。

2 ラグビーワールドカップ2019™について

今定例会でも大規模大会誘致推進事業費が計上された。練習場となる白水大池公園多目的広場に隣接する管理棟改修工事は総額約9,900万円。その他仮設の施設費、芝生の養生など多額の費用が必要であるが予算規模は明確に示せないとのこと。また市のイベントや計画も明確に出されていない。

開催まで残り少なく、一日も早く市民に計画やスケジュールを示し、市全体で気運を盛り上げ、本市のスポーツ振興やシティプロモーションに活かすことが重要である。



春日市議会

vol.5

「議会改革」

春日市議会ICT化で
期待される効果と課題は

12月14日に「議会活動のICT化について」の議員研修を開催しました。講師の株式会社ドコモCS九州の皆さんから、導入によるメリットとして、膨大な議会資料の電子化によるペーパーレス化と、資料の作成、配付の省略など議会運営の効率化とあわせ、災害時の迅速な情報収集、緊急連絡などにも活用が期待されるとの説明を受けました。費用対効果の研究を引き続き行っていきます。

ICT化
情報処理や通信に関連する技術の活用の中で、特に紙媒体に代えタブレット端末を活用する環境整備をいう。



①議会棟の見学 ②事務局から議会運営について学ぶ

③議場で一般質問を学ぶ

④議員と意見交換

⑤修了証

春日市議会では、議会事務局での勤務体験を通じて、議会の仕組みや議員の活動への理解を深め、実社会への関心を高める取り組みを進めています。

春日市議会インターンシップ事業

もっと
このような場を
設けてほしいと
思います

中学生
対象のインターン
シップを行って
みてはいかが
でしょうか

一般質問は
難しかったです

市議会、
議員への関心が
増えました

SNSなどでの
発信を活発にし、
若い世代が関心を
持てるように
してほしい

いろいろ
お話ができ
とても良かったです

議会を少し知ることができ、
自分たちのまちを良くするために、
18歳になり選挙の際には、
自分の考えを持って
投票したいと思います

春日市議会
へようこそ

かなどう
金堂議長

議会閉会中の活動

地域建設委員会視察報告

視察者 岩切委員長 松尾副委員長
與國委員 野口委員
中原委員 岩渕委員
視察日 平成30年10月25日～ 26日

宮城県多賀城市

多賀城駅周辺連続立体交差事業 同駅周辺市街地再開発事業

この立体交差事業は、土地区画整備事業と併せて平成26年度に完成している。4カ所の踏切解除で渋滞解消、安全性の確保とともに、道路冠水による雨水排水の強化も含めて、事業が進められてきたとのこと。注目すべき点は、駅前の広場が、市民が集い合える交流の場として生かされていた。

宮城県石巻市

石巻市の復興状況 今後の防災・減災事業

災害時は、職員の被害率が56%で状況把握の困難さで十分な意思決定ができなかったことの経験を基に、避難所における具体的な役割分担が市民・町内会・学校・市それぞれに明確にされていた。また、ボランティアの統一された体制づくりが成されており、参考にすべき点多々あった。



宮城県石巻市での視察の様子

総務文教委員会視察報告

視察者 内野副委員長 竹下委員
北田委員 川崎委員
高橋委員 白水勝己委員
視察日 平成30年10月25日～ 26日

大阪府高石市

共同利用型自治体クラウド事業

南海トラフ巨大地震の災害リスクに備え、平成26年に高石市と忠岡町、平成27年に田尻町が参加し、基幹系業務・内部情報系業務システムを共同導入してコスト削減。大規模災害時などの業務継続性を確保し、データセンターはメインを関東とサブを西日本に配置して、災害リスクを分散している。

大阪府羽曳野市

歴史資産を活用したまちづくり

もず
百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を目指し、古墳文化の保存・継承に向けた情報発信や魅力創出に向けた取り組みを進めている。平成26年3月に「百舌鳥・古市古墳群を活用した地域活性化ビジョン」を策定。平成27年には「羽曳野市世界文化遺産登録推進本部会議」を設置し活動している。



大阪府高石市での視察の様子

各委員会は、定例会の会期中だけでなく、議会の議決により、議会が開かれていない閉会中にも必要に応じて開くことができます。そこでは、所管する事務の調査や先進地へ視察調査を行うなど、市政に生かすよう活動を行います。

また、議員または会派は、議会の審議能力の強化のため、調査研究などの活動に対し支給される「政務活動費」を活用し、先進地視察調査などを行っています。

議会閉会中の各委員会 (今後の予定)

春日市議会では、毎月各委員会を開催し、所管する事務の調査を行っています。どなたでも傍聴いただけますので、ぜひお越しください。



議題は市議会
ウェブ
サイトを
チェック！



委員会の様子

総務文教委員会

場所：第1委員会室 2月20日

市民厚生委員会

場所：第2委員会室 2月15日

地域建設委員会

場所：第3委員会室 2月19日

議会運営委員会

場所：第1会議室 2月18日

会派視察など(11~12月)

政務活動費を活用した視察研修などの各報告は、翌年度6月頃から市議会ウェブサイトにおいて公開します。

創政会 與國議員・竹下議員・米丸議員・川崎議員

公明党 野口議員・岩切議員・高橋議員

会派大樹 北田議員・近藤議員

11月14日～15日

第13回全国市議会議長会研究フォーラム
in 宇都宮

会派大樹 北田議員・近藤議員 吉居議員

12月20日～21日

東京都江戸川区(おうち食堂)
NPO法人プレーパークせたがや
(羽根木プレーパーク)

他議会との意見交換(平成30年)

議会改革や議会広報について、他議会からの視察を受け入れ、本市議会の状況を報告するとともに意見交換を行いました。

議会改革

10月18日 滋賀県近江八幡市議会

10月24日 大阪府寝屋川市議会

11月8日 島根県松江市議会

議会広報

1月30日 兵庫県加古川市議会

5月10日 京都府京田辺市議会

7月31日 香川県三豊市議会

11月21日 徳島県三好市議会(議会広報・広聴)



香川県三豊市の
視察の様子

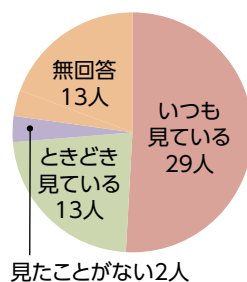
期 日：10月16日(ふれあい文化センター)
17日(春日北小学校きたっぴいホール)
内 容：①議会活動報告(委員会報告)
②意見交換会
参加者：57人

議員と語ろう

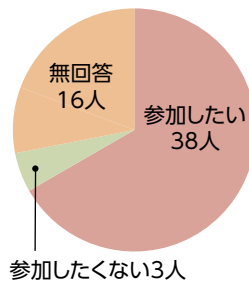
議会報告会を開催しました



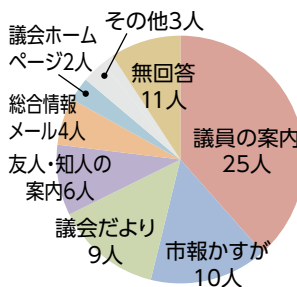
Q 議会だよりは？



Q 次回の参加は？



Q 参加のきっかけは？(複数回答)



アンケートから
(全日程)

春日市議会では、議会基本条例に基づき、平成22年度から毎年度「議会報告会」を開催しています。今年度は10月16日にふれあい文化センターにおいて、翌17日は春日北小学校において開催しました。今号はアンケート結果の続きと春日北小学校きたっぴいホールでの意見と、その対応についてお知らせします。

20時30分	10分間	40分間	30分間	19時
閉会	議員が意見交換での内容を発表し会場全体で共有しました	2グループに分かれ、議員と参加者の皆さんで自由に意見交換を行いました	意見交換 地域建設委員会 災害時に備えた市の動き 市民厚生委員会 取り組み課題と行政視察の結果	開会行事 議会活動の報告 議会運営委員会 議会基本条例の見直し 総務文教委員会 行政視察報告(札幌市)

議会報告会
当日のながれ

意見交換会でのご意見は・・・

議会報告会で寄せられたご意見はとりまとめ、議会では対応を協議し、市へ伝え、回答を求めるなど行い、政策提言や議会の活動改善に生かします。



質問・回答の要約をウェブサイトに掲載

市へ伝える
市へ回答を求める
政策提言 など

委員会では対応を協議
課題の洗い出し

分野別に整理し
委員会に割り振り

市議会ウェブサイト「議会報告会」へ⇒



たくさんのご意見をいただきありがとうございました。
春日北小学校きたっぴいホールでの(10/17開催)でのご意見をご紹介します。



一部抜粋して掲載しています

市内には小さな川が集まり対策に不安要素が多い。小学校校庭の下に雨水トンネルの整備などはどうか。

議会は行政と対等な立場で議論しながら決めていくことが必要。

SST(ソーシャルスキルトレーニング)の報告から、小1問題への取り組みとその解決方法を知りたい。

長浜太宰府線の土地買収で移転後も引き続き市内に住みたい人へ空き家情報の提供を。

議会改革として議場での自席答弁の実現を。

二元代表制について、現在の春日市議会の状況をどう捉えるか。市民の代表として恥ずかしくない発言を。

代表質問を検討してほしい。

災害時の情報伝達関連の協定の状況は。

避難所として近隣の住民は市内の自衛隊へ避難することは可能か。

住んで25年近くになる。春日市はいいなと思い過ごしているので、今日の参加者の意見を聞き広い目を向けていきたい。今日はいい機会となった。

福岡西方沖地震で自宅ブロック塀が倒壊した。適切な災害対策を。

自治会未加入者への自治会費徴収を把握しているか。

東峰村でのボランティアで良いと感じたので、台風の際のごみ出しや災害の際には防災無線が必要ではないか。

歩道のグリーンベルトはとても歩きやすく安全だと感じている。未整備地区に整備を。

ひとり暮らしの高齢者のボランティアをしているが、自治会では住民と子どもたちの交流をととても大切にしている。委員会での取り組みを知りたい。

災害時にライトがなくても見える反射板などを避難所への経路に設置してはどうか。

ご参加ありがとうございました。すべてのご意見、アンケート集計結果は市議会ウェブサイトに掲載しています。

さかせて! あなたの未来 vol.6

市民の皆さんにお聞きます

表紙写真の応募者の方にお話をお伺いします。
表紙写真の応募方法は→



なんちゅうカレッジ実行委員会

あら き みつぐ

荒木 貢さん (白水池在住)

春日市議会のここに期待しています

議員の皆さんには執行部とは違った視点をぜひ持ってほしい。視点が違うからこそできる議論を大いにし、一歩でも前進するよう頑張ってください。そして、議会で議決した後は住民にとって便利になったかなどを検証していくことが必要です。

どんな活動をしていますか?

地域の人が受講者となり生徒とともに学ぶ春日南中学校のプロジェクト「なんちゅうカレッジ」は月1～2回の土曜日に28講座を開催し、12月にはカレッジ祭での成果発表を行います。

平成31年で18年目になり、少しずつ中身を変えていきたいなと思っていて、今年も講座の推薦や教えたいという申し出があります。

表紙写真応募のきっかけは?

中学生がわずか20時間の短い期間で、知識や技能を習得し成果を発表する成長力にいつも感動するんです。その感動を皆さんにも伝えたいと応募しました。

春日市のここが好き!

春日市は市域が狭いので、住民間の交流、コミュニケーションが非常に取りやすいことが一番の利点だと思います。



アイルランドがやってくる

ラグビーワールドカップ2019™ 春日市キャンプを盛り上げよう

学校と地域が共存するスポーツ活動の場

アイルランドは日本と同様に学校での体育系クラブ活動が盛んだ。ただし、シーズン制を採用しているため複数のスポーツを経験する。秋から冬はラグビー、バドミントン、卓球。春から夏はクリケット、陸上、テニスなど。また、地域のスポーツクラブでもさまざまなスポーツが楽しめ、複数種目で才能を発揮する子どもも少なくない。

学校と地域のクラブが有効に共存していて、学校のクラブが能力レベルを問わないのに対して、地域のクラブが選手志向であるなどレベルに関するすみ分けもできている。

学校のクラブでは日本のようにトーナメントを重視せず、地区でのリーグ戦の充実が図られていて、さまざまなレベ

ルで全員が試合に出場できるよう努力がなされている。

また、学校のクラブは多くの外部ボランティアコーチによって支えられている。ラグビー、テニスなどに関しては、国代表や地区代表などのトップ選手が各競技団体から学校に派遣されることもある。

子どもたちは誰もが試合を楽しみ、たくさんの仲間をつくるスポーツの醍醐味を生涯スポーツの第一歩として学校で経験していく。このため卒業後も地域のスポーツクラブで同様に楽しめるのだ。

学校と地域によって支えられる子どもたちの豊かなスポーツライフが、大人たちのスポーツを通じた充実した余暇生活の基礎を形成しているといえそう。



【明石書店アイルランドを知るための70章第2版より一部抜粋】

編集後記

テレビでは、例年のことだが派手な成人式が取り上げられている。さて、春日市ではどうか? と思いながら、平成31年春日市成人式に参加した。カラフルな衣装、ユニークな髪形、いかつい化粧も目についた。ケーブルテレビの取材を受ける若者の様子を、カメラの後方からうかがった。その風貌とは裏腹に、礼儀正しく、両親への感謝を口にしていて、社会に出る前の短い時間を、自分らしく楽しんでいるのだろ。うか。なんだかほほ笑ましくもあった。Aの発達、労働人口不足、少子高齢化、予測不可能な日本社会の荒波を乗り越えて、どうか幸せな日本を創ってください。新しい日本は、幸せな日本は、若い皆さんの創造力にかかっています。自分らしくチャレンジを楽しめば、きっと幸せな日本は目の前に広がっています。 ひでこ

議会報編集特別委員会

委員長	高橋裕子
副委員長	白水和博
委員	川崎英彦
委員	岩淵 穰